

第1学年道徳学習指導案

平成27年 月 日 () 第 校時

児童数 名(男 名女 名)

指導者 五味 潤 俊夫 + 各担任

1 主題名 公德心をもって 4-(2)

2 資料名 「電車の中で」 出典(正進社「キラリ☆道徳」)

3 本時の学習指導

(1) ねらい 公德心及び社会連携の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める態度を育てる。

(2) 展 開

※学校課題との関連

◎人権教育との関連

段階	主な発問と学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 この矢板中学校やクラスの中で「迷惑な行為」を見たり聞いたり、経験したことがあるか、発表し確認しよう。 (5分)		・価値への方向付けをする。
展開	2 資料「電車の中で」前半部の範読を聞きながら、私の気持ちの不快感や怒りを思い浮かべる。 (1) そのにおいて、私はどんな気持ちだったろう。 (2) イヤホン音や携帯電話の大きな声を聞いて、私はどんな気持ちだったろう。 (3) 髪をとかす若い女の人の髪の毛が落ちたとき、私はどんな気持ちだったろう。 (4) 優先席の前に立つ松葉杖の人を見て、私はどんな気持ちだったろう。 (5) 電車を降りる時、肩をぶつけられ倒れそうになったとき、私はどんな気持ちだったろう。 3 資料後半「空き缶ひとつ」の範読を聞きながら、私の気持ちの変化を考える。 ◎ (6) 空き缶を捨てた若者と私の行動や言動を役割演技で確認する。 (35分)	・くさいな。 ・いやなニオイだ。 ・気持ち悪い、はきそう。 ・迷惑だな。 ・話、するなよ。 ・うるさいぞ。 ・やめてくれ。 ・髪の毛がくっついた。 ・電車の中でとかすなよ。 ○席を替わってやったら。 ○何を考えているんだ。 ○優先席なのに。 ・痛いよ。 ・ルールを守れよ。 ・転びそうだよ。 ▲無視しよう。 ・空き缶、そのままいいや。 ・文句を言ってやろう。 ○追いかけて注意するぞ。	・分析記号の付いている資料を生徒に配布し、心の動きや変化を感じたりながら深い読みをうながす。 ・「いやな(気持ち悪い)において」に不快を感じている私の気持ちを感じ取らせたい。 ・「いるさいな」「迷惑だな」と思いつつも自分は生活の中ではどうなのか、振りかえさせながら、感じ取らせたい。 ・(1) から (5) の生徒の反応をうながす意味で、生徒を前に出して「動作化」させていく。 ・これでもかと言うくらいに、他人から「迷惑行為」を受けている私に共感させたい。 ・役割演技(ロールプレイ)の方法について、簡単に説明をしてから演技させる。 ※役割演技の技法を使いながら、生徒たちの気持ちを発せさせ、考えを深めさせる学び合い学習をすることで、本時のねらいにせまらせたい。 ◎自分の考えや思いを自由に言えたり話したり(演技したり)できる雰囲気作りを考えていく。
	4 自分の今までの生活の中で、「公共の場での過ごし方や約束、ルール」についてどうだったか、考える。 (7分)		・学校生活や家庭生活の中で、本時の価値にせまるために、生徒たちの本音を引き出し、その理由や考えなども引き出したい。
終末	4 教師の説話を聞く。 (3分)		・実践意欲につながるような、具体的な事例などを用意する。

2 事後指導 学校生活の中で公共の場での言動や行動について考えさせ、他人に迷惑をかけない言動ができている生徒を、朝や帰りの会等で賞賛していく。